

bj観戦もっと楽しく!

NPO法人「富山スポーツコミュニケーションズ」(TSC、佐伯仁史理事長)は、男子プロバスケットボール・bjリーグの富山グラウジーズの「観戦ナビゲーションサービス」を始め、観戦中に解説者がレシーバー機器を使ってルールや戦術、

NPO法人・TSC

選手の情報などを伝え、より試合を楽しんでもらう。

県内では富山グラウジーズのほか、プロ野球・BCリーグの富山サンダーバーズやJリーグ昇格を目指すカタレ富山など、プロスポーツ化が進んでいる。

バスケットボールと野球の両チームは、それぞれ初年度の観客動員数が伸び悩んだ。佐伯理事長は「県民の多くはスポーツ

来月5日 解説サービス開始

観戦の経験が少なく、応援や試合の楽しみ方になじみがない人が多いのではないかとみる。

サービスはこうした状況を改善し、県民の観戦意欲を高めるのが狙い。県内開催の試合で、チーム関係者、地域の専門家らが解説する。来シーズンのサンダーバーズの試合についても計画しており、将来的には他競技の試合でも行う考えだ。

来月1月5、6の両日、魚津市のありそドームで行うbjリーグ・富山グラウジーズ・埼玉ブロンコス戦から順次実施する。定員は30人。問い合わせはTSC事務局、電話090(5176)0075。申し込みはホームページ、アドレスはhttp://www.toyamaisc.net/